



有松まちづくりの会役員会 (9月25日)

9月8日の名古屋豪雨時の有松での様子が報告された。手越川(藍染川)がもう少しで越水しそうな水量であったこと、名鉄電車が止まり帰宅困難者が一時コミセンに訪れたこと、古い家屋で雨漏りや土間への浸水が見られたことなどが分かりました。旧山田薬局は予定通り改修中。有松日本遺産推進協議会の活動として、来訪者アンケートが1500件ほど実施されたこと、12月5日(土)に開催される緑区民まつりでは、例年通り「日本遺産有松」のPRをすることなどが報告されました、



ホノホン

NHK総合 まるっと×アジア大会 直前！準備状況

伝統工芸や名古屋めしとコラボ！ (9月14日)

9月19日開幕のアジア競技大会に向けて有松でも機運が高まっている。訪れる観光客に様々な体験をしてもらおうと、奮闘する様子が放映されていた。その中には有松工芸さんも…体験予約のツアーが150用意され、その一つとして紹介されていた。

“体験”で愛知楽しむ



増え続ける外国人観光客に日本遺産のまちをアピールすべく、おもてなしに努めている様子が伝わってきた。

第3回 ひさだ落語会 (9月12日) 於:しぼりの久田 本店

60席程用意された会場はほぼ満席。昨年11月、今年4月に続いての開催。落語家 登龍亭幸福師匠の生徒5人によるアマチュア落語会である。5人揃っての今回は"The 浴衣会"だけあって、浴衣姿の客も少なくない。5人も「久田」の浴衣を身に付けて高座に。「お気に入りがあればお店に用意してあります」とちゃっかり宣伝も…時間が過ぎるにつれ、会場は笑いに包まれていった。5人の名前はユニーク。写真は唐眠流亭 風林(からめるてい ぷりん)さん。読めましたか？



東町布袋車刺繍大幕 「新左面幕」御披露日

10月4日(日) 秋季大祭
有松山車会館にて

令和元年より約10年計画で進行中の東町布袋車の刺繍大幕復元新調事業。このたび、3枚目となる「新左面幕(応龍と霊亀・雷文図)」が完成いたしました。当日は、令和3年度に完成した「新正面幕(鳳凰と応龍の尾・雷文図)」とともに皆様へお披露目いたします。



～秋の有松ブンカサイ～

有松天満社秋季大祭

10/4(日) 〈山車まつり〉

- ◆ 有松町家ライブ 10/18(日) 秋の奏 JAZZ ジャズバイオリン 高橋誠 ピアノ・アコーディオン チット・モンテ
10/24(土) 有松 茶の湯 ロマンの世界 朗読・二胡ライブ 於：いずれも棚橋家住宅
- ◆ 「絞」「瓦」灯りストリート 10/26(月)～11/1(日) 17時～21時 山与遊歩道
- ◆ 有松ミチアカリ 10/31(土)・11/1(日) 17時30分～20時 有松東海道西町・祇園寺境内
- ◆ いけばなストリート展2026 10/31(土)・11/1(日) 10時～17時 有松東海道一帯
- ◆ 絞りを今につなぐ作品展 10/31(土)・11/1(日) 10時～16時 早恒染色 於：申申居
- ◆ アリマツークット 10/31(土)・11/1(日) 10時～16時 有松天満社・モスアリマツ
- ◆ あいちのたてもの博覧会 11/14(土) 山中歯科①13時15分～②14時30分～
中濱家住宅①10時～②14時30分～ 岡家住宅①11時15分～②13時15分～



有松トワイライトルームの皆さん 有松山車会館を見学 (9月17日)

これまでも、日本遺産のまち有松を精力的に学んでいるトワイライトルームの皆さんが山車会館を見学。「何人乗っていますか？」など質問が鋭い。祭りの映像を見たりからくり人形を動かしたり…満足気である。引率の六鹿晴美さんは「もう直ぐお祭り、たくさんの子が綱を曳いてくれるとうれしいです」とおっしゃっていた。

インタビュー 梵天(ぼんてん)係を終えて 川上功

今年も山車まつりの時期が来た。祭りに関わっている方の生の声を聞く機会があったので誌上で紹介したい。

お話をしてくださった川上 拓さん(42)は、東京からの転勤族。中町年行司でお話を伺った。

Q「梵天係になったきっかけは？」

A「昨年、子どもが山車まつりに出たいと…太鼓をやっていました。付き添い中に誘われて」

Q「やってみて感想は？」

A「大変でした。準備では、竹を切ったり(年行司前に)立てたりすることが。本番では、梵天を持って歩くことが…。貴重な体験*でした。3人で交代しながらやりました。3人の1人も引越してきた方でやりやすかった。地域との繋がりができよかった」

Q「有松の印象は？」

A「のどかで静かですね。朝涼しいうちに走っていますよ。子どももやる気を増しているようです」

* 梵天係は山車の運行時、山車の先導を行う。文嶺講の半纏を着用し、旗手用のベルトも着ける。昨年は雨のため山車の運行はなかった。

厄年の方が務めることが多かったが、近年柔軟に運用されている。



令和7年の様子

文芸と有松 第4回 勝 海舟 伊藤総俊

竹田家住宅には、興味深い掛け軸が他にもある。右写真は、明治14年11月に海舟が竹田氏の依頼により書かれたものと言われている。

"明治14年の政変"の年に書かれたことから、壮士をカラスやスズメに例えた海舟の政府への想いを感じ取れるようである。

明治十四年陰曆十一月竹田氏の依頼により旧作を書きしるす

後の事(死後のこと)は今では言いにくい
意気盛んに本心を表すことにする

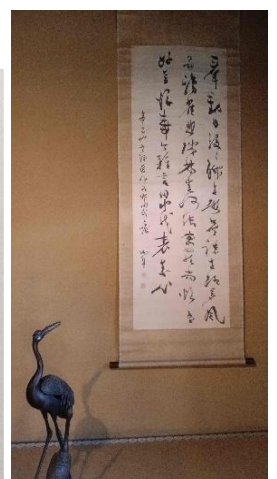
やはり綺麗な鳴き声(良い便り)があることを思い浮かべよう

どうして目の細かい網(厳しい法律)を張って鳥を掴まえることなどできようか

カラスやスズメは木がばらばらに生えている林に逃げ隠れる

この世を生きてゆくには風雨(さわり)が烈しくて

万物が動き日々急速に進んで行く



Field Study in ARIMATSU (8月29日) 主催:スズサン

～ 400年の手仕事から、地域発のファッションの未来を考える ～

東京はじめ全国から15名が参加。伝統工芸・縫製・アパレル・インテリアなど様々な業界の方々「服が生まれた土地を歩いて学ぶ」企画。

400年にわたり有松・鳴海絞の産地として歩んできた有松から、ものづくりの背景と地域から生まれるファッションの未来を考えようとするもの。



○挨拶

○ 挨拶 **suzusan shop** 村瀬弘行氏より「有松では絞り産業が脈々と受け継がれ、それと同時に文化も形作られてきた。『玄関の奥に文化がある』と言われ、将軍が立ち寄った茶室などびっくりするような所や物がある。町並みを歩いて気づいて欲しい。また、『有松には絞りしかないよね』との風評を変えたくて、2年前からツアーを実施し有松での滞在時間を延ばす取り組みを始めている。手ごたえを感じている」



②棚橋邸見学



①町並み散策

① 町並み案内 **suzusan shop** ～ **SUZUSAN Lab**

村瀬氏の案内。24年ほど前まで生まれ育った町であり、かつ絞り産業に関わる立場でもあるので、観光ガイドとは一味違った案内。大変好評であった。



③有松・鳴海絞会館



④有松山車会館

② 棚橋邸見学 所有者の棚橋恭子さんが案内。

2階の長さ16mの梁など明治9年築の建物に圧倒されると共に、病院時代の話聞く。特に戦時中、有松駅近くに置かれた捕虜収容所での話(嘱託医だった父が捕虜へのお灸で戦犯の疑い)には引き込まれた。



括り⇒染め



③ 絞会館 2階の括りの実演では、皆さん食い入るように見学。多くの質問が出されていた。

④ 山車会館 展示中の布袋車について詳しい説明を聞く。有松の文化そのものであることを実感する。

⑤ ワークショップ **SUZUSAN Lab** シルクのミニスカートを制作。手蜘蛛絞りを体験したが、真剣さに感動。ファッション業界の方々の為かセンスの良い仕上がりだ。記念の集合写真(右下)を見ていただくと一目瞭然。



⑤ ワークショップ(**SUZUSAN Lab**)



⑥ トークセッション **棚橋邸** 篠崎友亮氏の進行で

村瀬弘行氏と北林 功氏が対談。

対談を通して村瀬氏は「有松の価値に気付かされた。これまでの15年は、絞り製品を世界に届けてきたが、これからは日本にきた人

に有松の奥深い文化を紹介したいと思う。活動拠点を日本に置き、「有松で作る」「手で作る」ことにこだわった製品づくりを進めていきたい。今が会社のターニングポイントだ」と。この村瀬氏の思いに、記者は深く共感させられた。

⑥ トークセッション(棚橋邸)

北林 功氏



工房TAKAKO作品展 (～9月12日) 於:岡崎市

岡崎市稲熊町のギャラリー喫茶イブで有松絞り製品の展示販売会が約1か月にわたり開かれた。有松以外の地でも広く有松絞りの魅力を伝えたいと、工房TAKAKOのメンバー6人が有松絞りの布を使った帽子やブラウス・スカート制作。中には自分で染めた布を使ったものもある。代表の伊藤多香子さんは「趣味の帽子づくりで絞り布を使ったのが始まり。これからも絞りにこだわって作っていききたい」と。



第4回 藝探展 (8月22日23日他)

於:川村家東蔵・岡家住宅

東陵中学校藝術文化探究部の作品展が、上記会場で8月22日から9月6日までの金土日に開催された。初日に見学したが、回を追うごとに展示作品が増え、充実したものになっていた。作品展示と合わせて、熊本・能登半島地震への取り組みなど社会への関心も忘れていない。藝探部の「幅広く自分が芸術だと思うものを探究する」姿勢がみられる。川村家東蔵では、当番と保護者6名から話を聞くことができた。「見学者は多くはないが、褒めてくれるなど励みになる」「有松の伝統的な蔵で展示ができ、貴重な体験とともに、やる気があがっている」と。岡家住宅では、絵画作品を中心に展示。当番の方に聞くと、10名ほどが見学に訪れたとのこと。



川村家東蔵にて ↑



岡家住宅にて →

ABO NON KIKAKU ~有松絞り 反物 アパレルアイテム販売~ (8月27日・28日) 於:六弦とコットン

店内には絞りデザイナー 安保成子さんの作品が所狭しと並べられていた。形状記憶のものから昔ながらの藍染めのものまで多様。「有松絞りを身近に感じて欲しい」と展示、販売されていた。

「高校生が発案した"宇宙絞り"柄のTシャツが人気で…、伝統と科学、芸術の垣根がなくなってきたように思う。また、海外客を含めて絞り体験をする人が本当に増えてきている。古い町並みが残されているという強みを活かして、今後の有松の活性化に期待したい」と。

番組紹介 CBC ララLIFE (8月28日)

「40代に突入した記念に浴衣を自分で作りたい」と俳優・モデルの加藤ローサさんのAya Irodoriでの奮闘ぶりが紹介された。選んだ技法は"鎧段絞り"。きつく等間隔で糸を巻くこと6時間。染めた後、糸をほだいての柄に「感激！想像以上です」と。後日、仕立てた浴衣での姿が右写真。「おばあちゃんになるまで毎年着ていきます」とも。体験で浴衣に挑戦する人が増えそう。



催事・行事予定

- (10月4日(日) 10:00 有松天満社秋季大祭 (山車まつり)
- 10月19日(月) 18:00 有松町並み相談会 有松コミセン
- 10月25日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 10月26日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会
- 10月27日(火) 18:00 第3回有松日本遺産勉強会 校会館2階

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

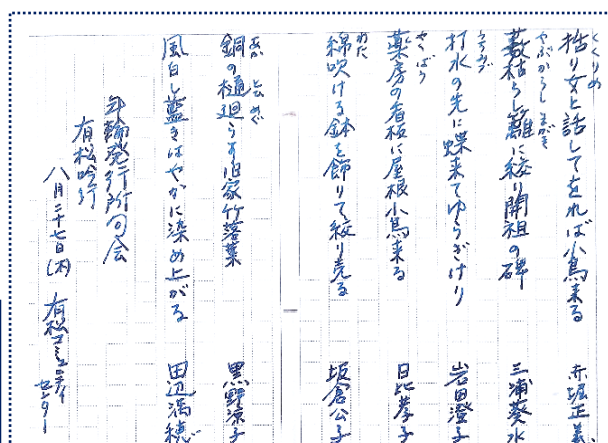
編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp 取材・撮影 伊藤総俊
有松まちづくりの会は新規会員を募集しています。(年会費1000円)

詳しくはホームページ又はお近くの会員までお問い合わせください。

まちづくりの会はホームページを公開しています。「有松のまち」で検索。

「有松かわら版」をカラーでご覧いただけます。



年輪発行所句会 有松吟行 2026.8.27